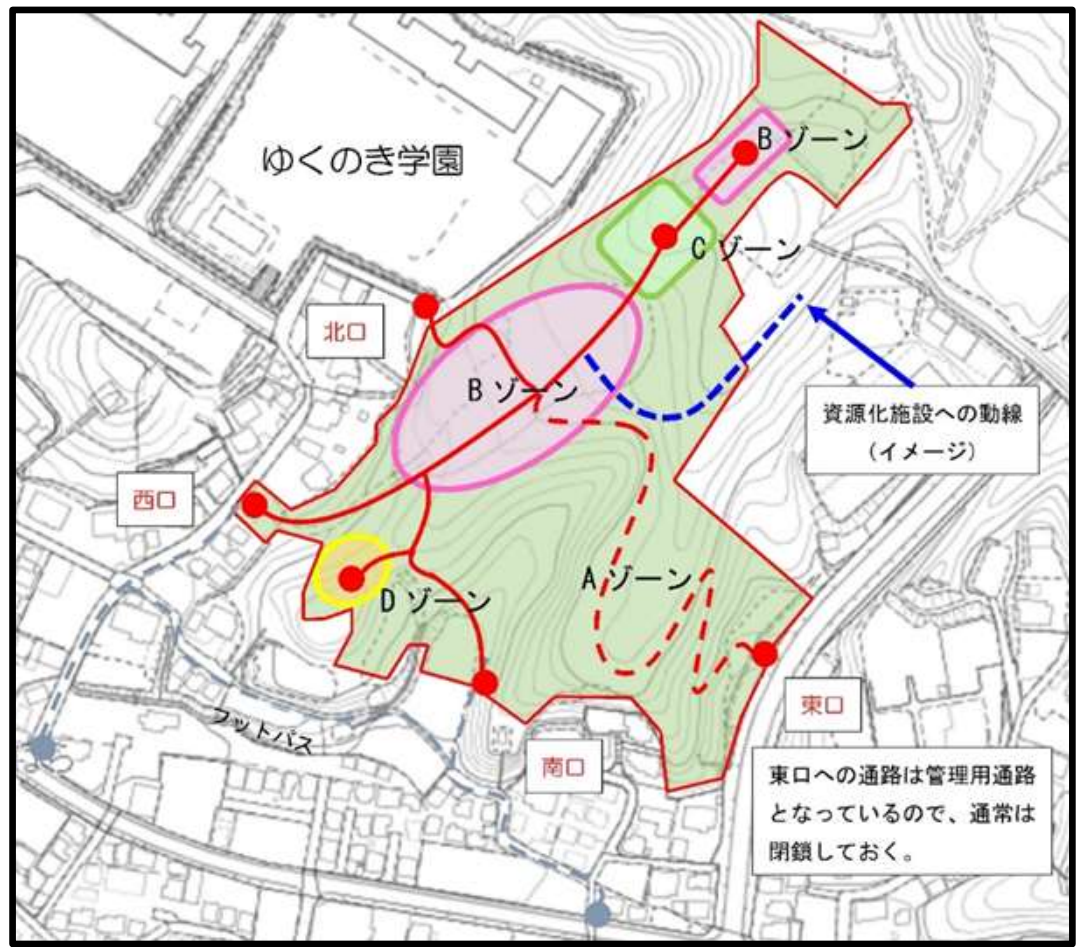


2023年11月4日

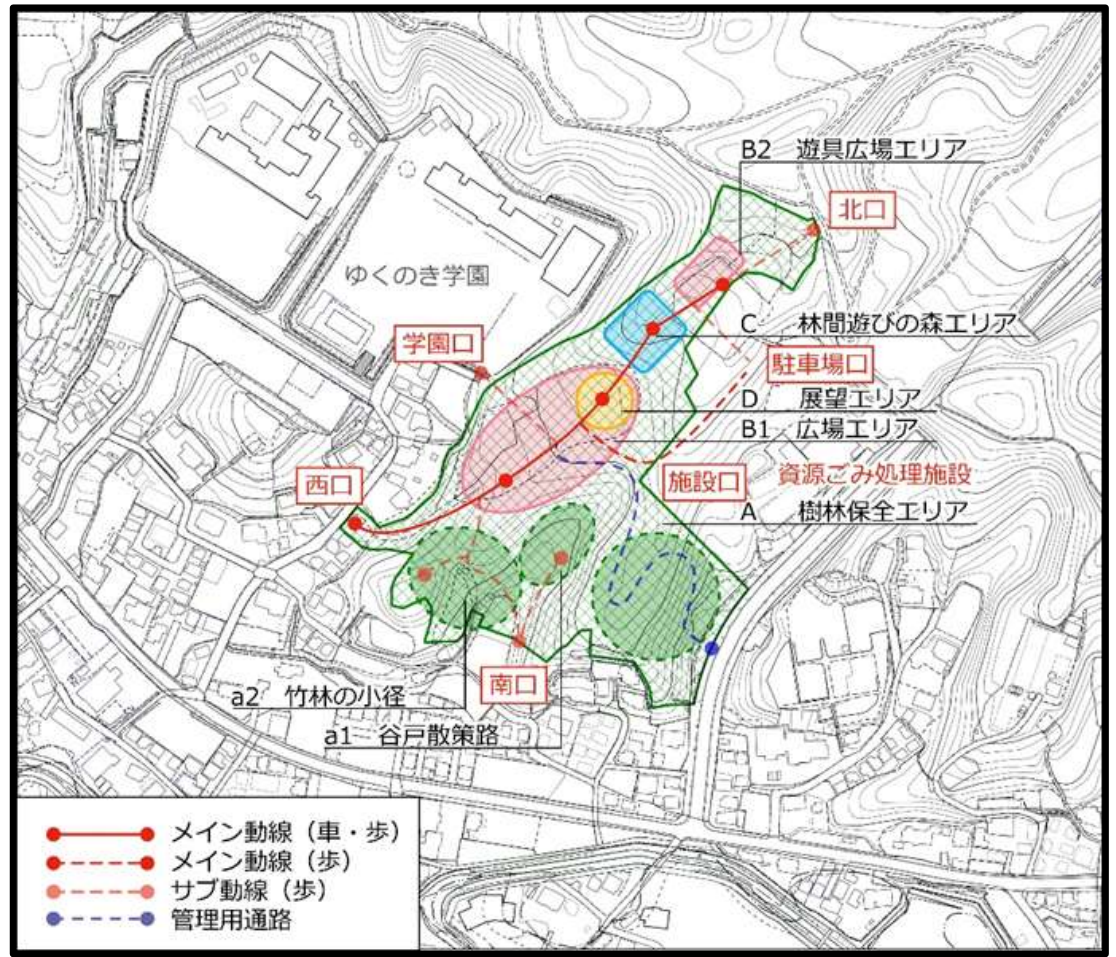
相原地区資源ごみ処理施設連絡会 (第16回)

【基本計画】



- ◆Aゾーン：樹木保全ゾーン
- ◆Bゾーン：広場ゾーン
- ◆Cゾーン：林間遊びゾーン
- ◆Dゾーン：展望ゾーン

【基本設計】



- ◆Aゾーン：樹木保全エリア
 - ・ a1：谷戸散策路（観賞用ビオトープ）
 - ・ a2：竹林の小径
- ◆Bゾーン：広場エリア
 - ・ B1：広場エリア（多目的広場：芝生広場、平坦広場、展望広場）
 - ・ B2：遊具広場エリア
- ◆Cゾーン：林間遊びの森エリア
- ◆Dゾーン：展望エリア（広場エリアに移動）



※園路線形や施設配置は大径木、貴重種を避けた計画とした

◆園路の整備

- ◇西口⇔広場エリア（傾斜路）
- ◇学園口⇔広場エリア（傾斜路＋階段）
- ◇南口⇔谷戸散策路、竹林の小径⇔広場エリア（傾斜路）
- ◇施設口⇔広場エリア（バリアフリー経路）
- ◇駐車場口⇔広場エリア（バリアフリー経路）

を結ぶ園路を整備し、広場エリアでは回遊性を持たせる

◆多目的広場（芝生広場・平坦広場）

- ◇地域住民のふれあいの場
- ◇多様、多目的な利用が可能な広場
- ◇見晴らしが良好で多くの方が同時に眺望を楽しむことが出来る展望広場

◆遊具広場

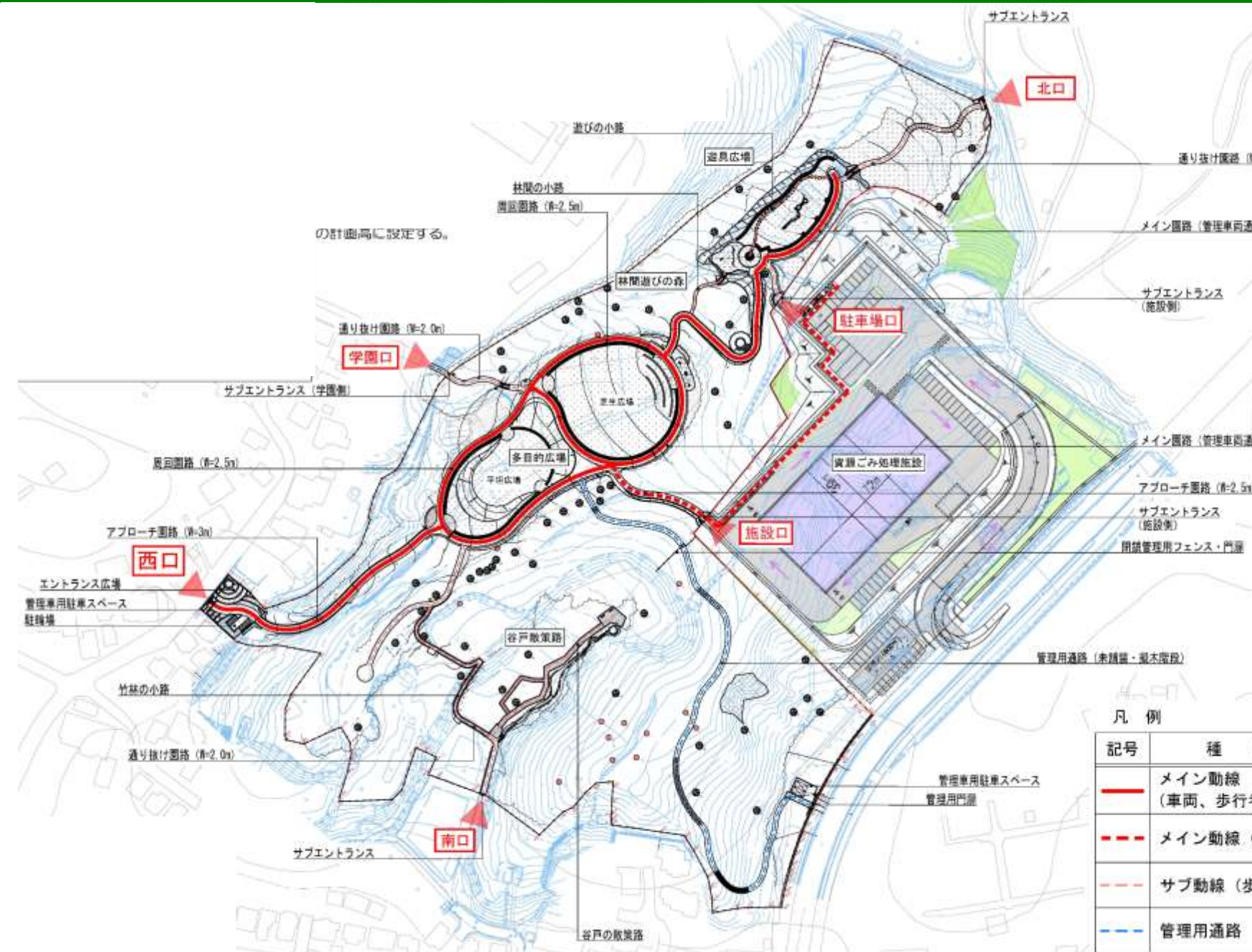
- ◇地形を活かした遊びができる遊具を配置

◆林間遊びの森

- ◇多目的広場と遊具広場をつなぐ園路
- ◇スギヒノキ林を活かした環境学習ができる場

◆谷戸散策路・竹林の小径

- ◇湧水を活かした観賞用ビオトープ
- ◇周辺景観・環境に配慮したデッキ散策路
- ◇モウソウチク・マダケ林を活かした良好な竹林空間の小径



◆出入口

◇公園緑地外からの出入口

- ・西 口：メイン出入口
- ・学園口：ゆくのき学園⇔広場エリア
- ・南 口：樹木保全⇔広場エリア
- ・北 口：遊具広場⇔林間遊びの森⇔広場エリア

◇公園緑地と資源ごみ処理施設間の出入口

- ・施設口：バリアフリー経路
- ・駐車場口：バリアフリー経路

◇管理用通路

- ・東側に管理用通路

◆通り抜け可能な園路（経路）

ゆくのき学園⇔家政学院大方面への通り抜け経路としては、「学園口」⇔「施設口」⇔「資源ごみ処理施設内の歩道」を計画

凡 例

記号	種 別
	メイン動線 (車両、歩行者)
	メイン動線 (歩行者)
	サブ動線 (歩行者)
	管理用通路

W=3.0 管理用車両通行可

W=2.5 歩行者専用

W=2.0 歩行者専用 (通り抜け園路)

※園路線形や施設配置は大径木、貴重種を避けた計画とした



園路部標準断面図

【自然を楽しむ散策空間】

谷戸散策路（観賞用ビオトープ併設）



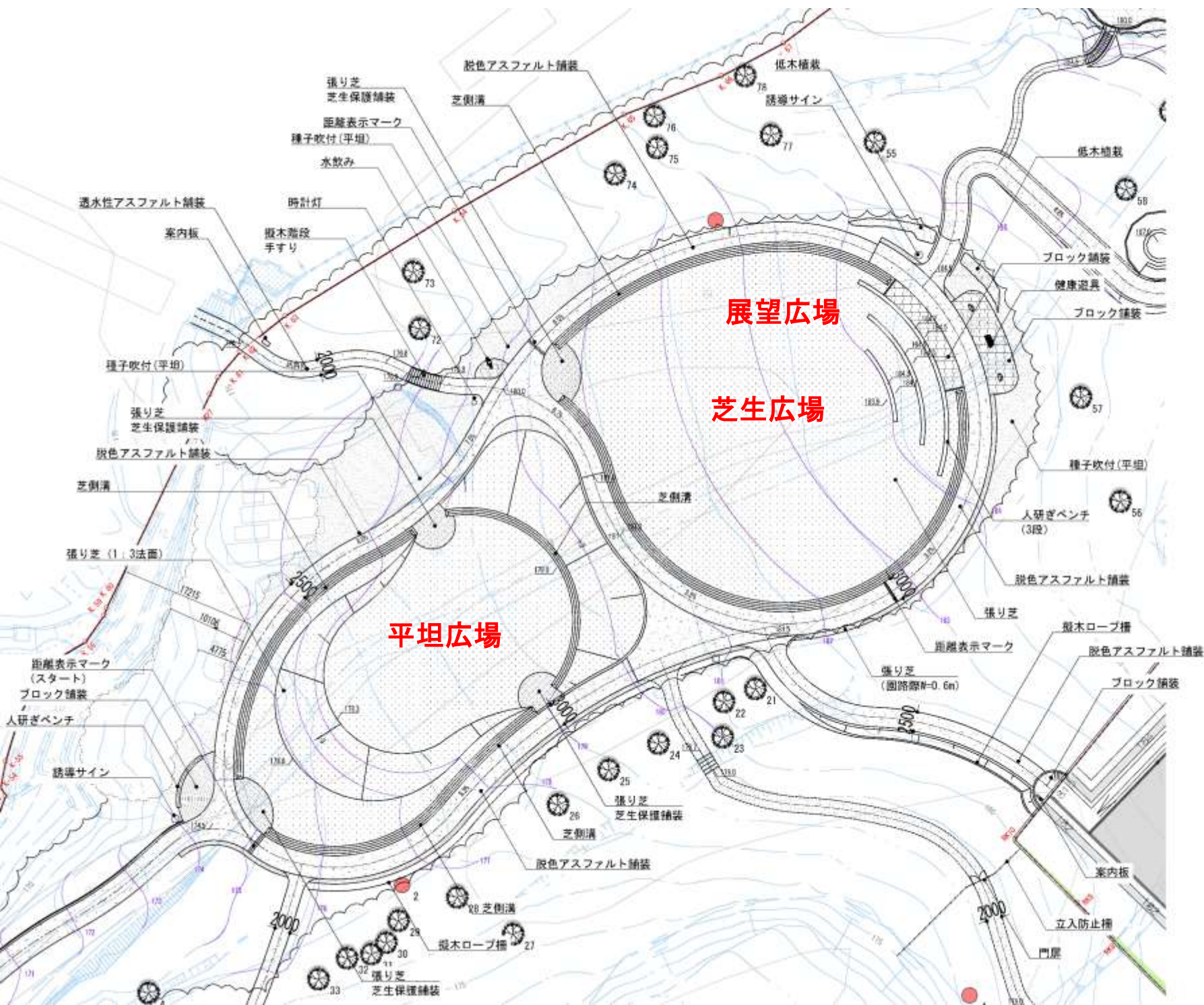
竹林の小径

既存のモウソウチク・マダケ林を 良好な竹林空間とする



谷戸散策路
（観賞用ビオトープ併設）

湧水を活かした観賞用ビオトープ 水辺周りには下草等の植生も豊かで 環境学習にも適している



- ◆多様なイベントができる多目的広場
 - ◇芝生広場、平坦広場で多様なイベントの実施が可能
 - ◇健康づくりに活用できる健康遊具を多目的広場外周園路沿いに配置

- ◆景観を楽しめる展望広場
 - ◇南側に傾斜地形が広がり最も見晴らしが良好な多目的広場上部に多くの方が同時に眺望を楽しむことが出来る展望広場を計画
(丹沢山系とその先の富士山の眺望が期待できる)

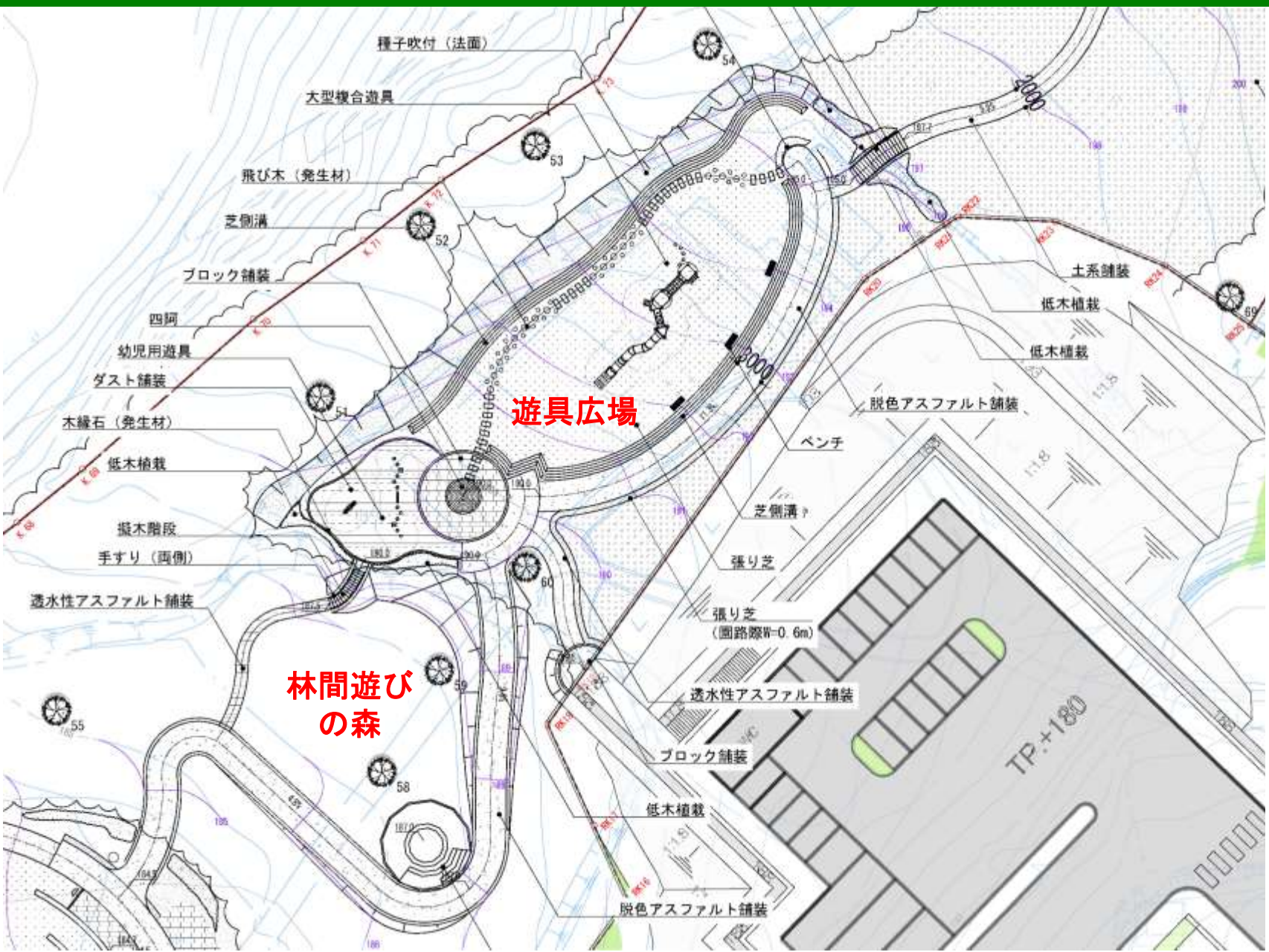
凡例

記号	種別
	大径木
	貴重種

現況地形図・境界座標: 3-13用地平面図(緑地緑地)
 周辺地図: 国土地理院地図
 現況樹木: 植栽平面図(2015.3.19環境整備施設整備課)
 出典: 大径木・貴重種: 自然環境保全計画書(案)1927.3

0 6 15 30 (m)

多目的広場（芝生広場・平坦広場・展望広場）



遊具広場・林間遊びの森

◆遊具広場

- ◇広場エリア同様、多様なイベントが開催できる広場
- ◇児童と幼児の衝突を避けるため遊び場を分けた
- ◇敷地の地形を活かした遊びができる大型複合遊具
- ◇アスレチック要素を兼ねた遊具(飛び木)
- ◇幼児用遊具

◆林間遊びの森

- ◇多目的広場と遊具広場をつなぐ自然体験エリア
- ◇スギヒノキ林を活かした環境学習ができる空間

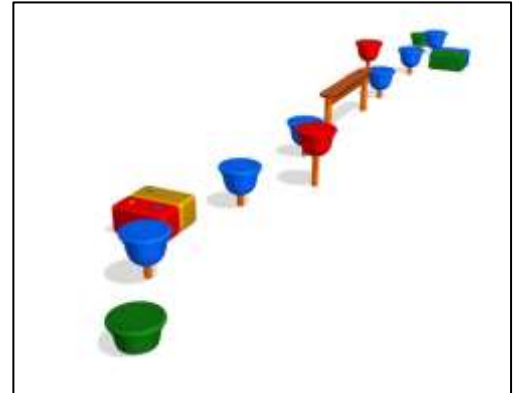
【大型複合遊具】



【飛び木】



【幼児用遊具】



◆トイレ

トイレは建築物扱いとなり、建築基準法上の道路からトイレまでバリアフリー経路が必要となります。傾斜地という地形特性と貴重種や大径木といった貴重な自然を残すという設計方針からバリアフリー経路の確保が難しく、広場内にトイレを設置することは難しい状況です。

→資源ごみ処理施設のトイレを利用することができます。

◆駐車場

駐車場の整備には一定規模の平地が必要となりますが、傾斜地という地形特性から平地を設けるにあたり大規模な造成盛土や擁壁等の構造物、多くの樹木伐採が必要となると想定されます。貴重種や大径木といった貴重な自然を残すという設計方針から広場内に駐車場を設置することは難しい状況です。

→資源ごみ処理施設の駐車場を利用することができます。